

(別紙)

1 質問項目及び内容

新型コロナワクチン接種後の副反応の実態と県民への情報提供について

(1) これまでの県内における新型コロナワクチン接種後の副反応件数、死亡者数、重篤者数を示されたい。

2 回答

ワクチン接種後に生じうる副反応を疑う事例については、予防接種法に基づき医師等に報告を求め、収集しており、その中にはワクチンと関係があるか明らかでないものや、原因が分からない事例も数多く報告されているところです。収集した報告は、厚生労働省の審議会に報告され、専門家による評価が行われています。

本県においては、8月17日までに報告された副反応疑い報告の総数は204件となっており、そのうち「アナフィラキシー」として報告のあった件数は29件です。

また、「重篤」と報告された件数は82件で、そのうち死亡例は15件となっています。

なお、厚生労働省の審議会の専門家による評価の結果、本県においてアナフィラキシーとして報告のあった29件のうち、アナフィラキシーと評価されたものは4件でした。18件は「因果関係が評価できない」とされ、7件は評価待ちの状態です。死亡例の15件については、13件の評価が行われ、すべて「因果関係が評価できない」とされています。2件は評価待ちの状態です。

※「重篤」とは、①死亡、②障害、③それらに繋がるおそれのあるもの、④入院、⑤①～④に準じて重いもの、⑥後世代における先天性の疾病又は異常のものとして報告されていますが、必ずしも重篤でない事象も「重篤」として報告されるケースがあります。

1 質問項目及び内容

新型コロナワクチン接種後の副反応の実態と県民への情報提供について

(2) 県民の皆さんにワクチン接種後の副反応についても、丁寧かつ積極的な情報提供を行い、相談体制の拡充を図るべきと考えるが見解を伺う。

2 回答

本県では、県民の皆さんがワクチン接種について判断する際の参考となるよう、全国における副反応を疑う事例や厚生労働省の審議会の専門家による評価など、厚生労働省が公表している資料を県ホームページ新型コロナウイルスワクチン接種ポータルサイトでご案内しています。

また、国立病院機構三重病院が開発した、新型コロナウイルス感染症ワクチンの安全性情報をリアルタイムでお知らせできるシステム「COV-Safe (コブセーフ)」により収集した接種後の健康状態に関するデータについては、三重県新型

コロナウイルス感染症対策協議会等で関係機関と共有するとともに、県が関与する集団接種会場においてもその活用について周知を図ったところですが、接種後の健康状態などの情報が県民の皆さんにも確認しやすくなるよう、新型コロナウイルスワクチン接種ポータルサイトを活用し情報発信に努めてまいります。

さらに、8月2日には、県民の皆さんからの副反応に関する問い合わせや相談に対応できるよう、看護師または保健師が、毎日24時間、日本語を含む6か国語で対応する「新型コロナウイルスワクチン副反応相談窓口」を開設したところであり、相談窓口のさらなる活用について、市町と連携しながら周知を行ってまいります。

引き続き、副反応疑い報告の状況に関する情報提供や副反応に関する相談等に対応するとともに、新型コロナウイルスワクチンによる発症予防効果や期待されている重症化予防の効果等の情報と合わせて、県民の皆さんがワクチン接種について判断いただけるよう情報提供を行ってまいります。